

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第50週の発生動向

全数報告の感染症 (50 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：つつが虫病 6 例。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			70 歳代	女	無症状病原体保有者	—
		高鍋	80 歳代	男	結核性胸膜炎	咳
		日向	90 歳代	男	疑似症患者	咳、痰、胸痛
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	60 歳代	女	—	症状なし O91(VT1産生)
4類	つつが虫病	都城	60 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			70 歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		日南	40 歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	40 歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			50 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、 肝機能障害
		中央	50 歳代	男	—	頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発疹

定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 867 人 (定点当たり 27.5) で、前週比 111%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

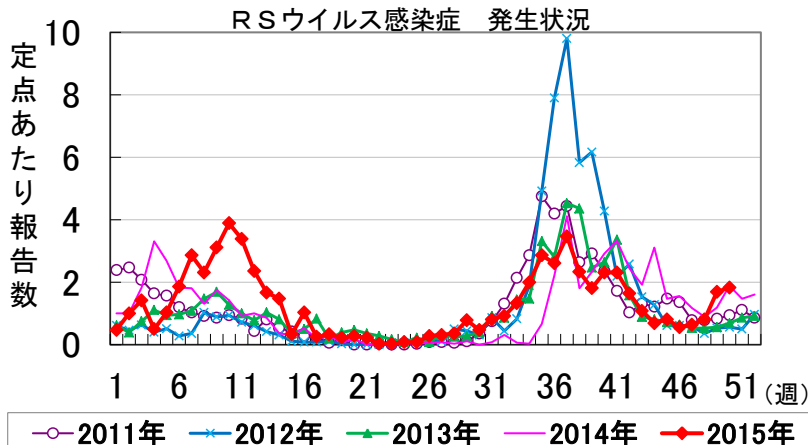
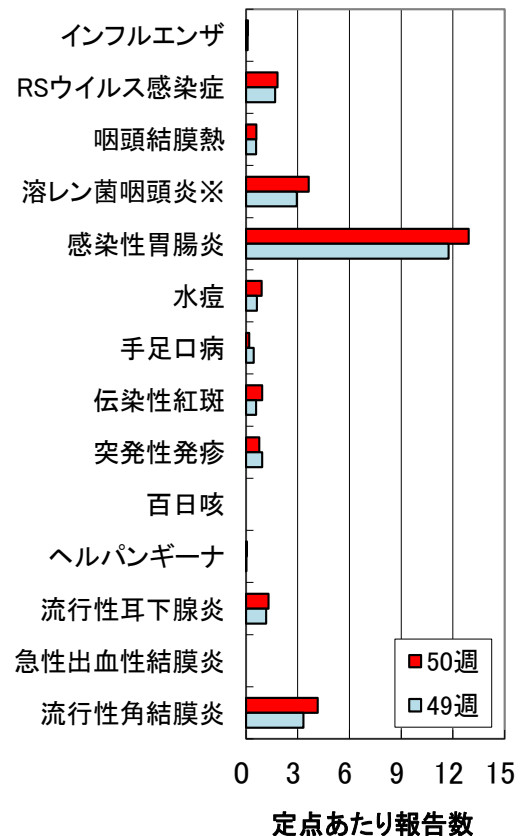
・報告数は 7 人 (0.12) で、前週比 117%と増加した。
(流行開始の目安：定点当たり 1.0)

【RSウイルス感染症】

・報告数は 66 人 (1.8) で、前週比 108%とやや増加した。
例年同時期の定点当たり平均値* (1.3) の約 1.4 倍であった。
年齢別では 1 歳が全体の約半数を占めた。

*過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値。

《前週との比較》

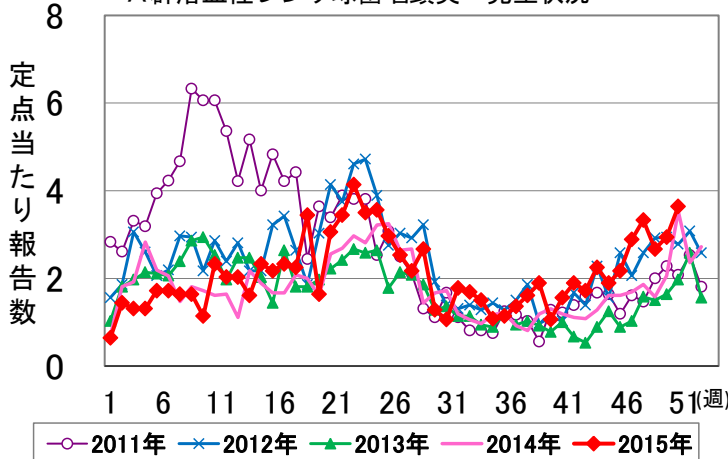


※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

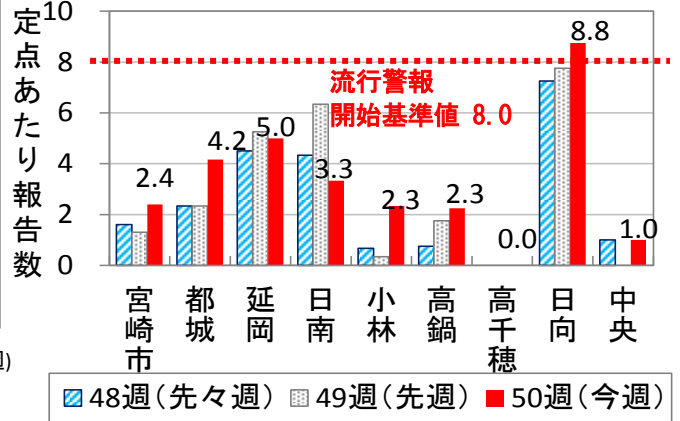
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は 131 人 (3.6) で、前週比 124%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (2.8) の約 1.3 倍であった。日向(8.8)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約半数を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



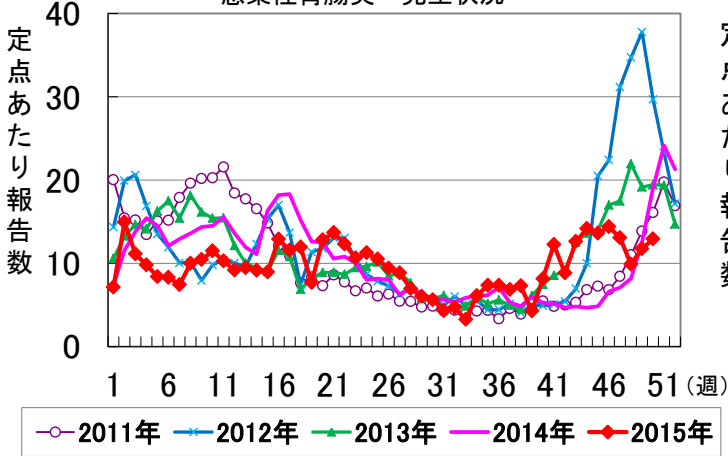
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



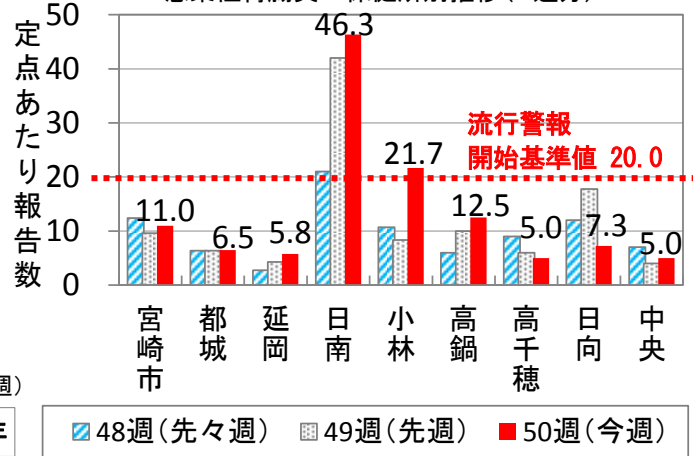
【感染性胃腸炎】

・報告数は 465 人 (12.9) で、前週比 110%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (22.2) の約 0.6 倍であった。日南(46.3)、小林(21.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



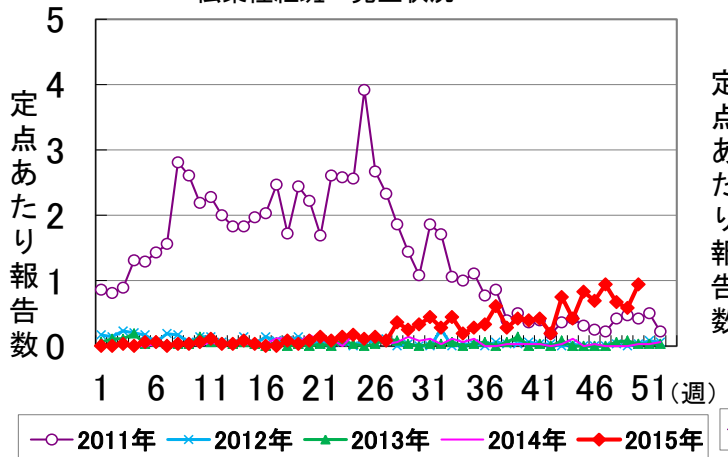
【伝染性紅斑】

・報告数は 34 人 (0.94) で、前週比 162%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (0.29) の約 3.2 倍であった。都城(2.0)保健所からの報告が多く、年齢別では5~6歳が全体の約4割を占めた。

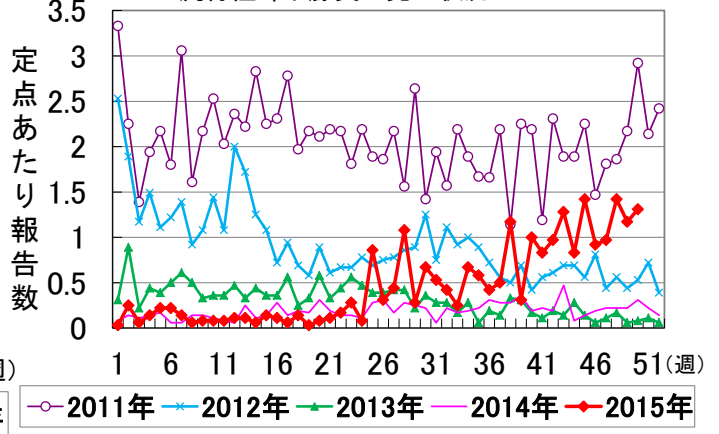
【流行性耳下腺炎】

・報告数は 47 人 (1.3) で、前週比 112%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (1.2) の約 1.1 倍であった。年齢別では4~5歳が全体の約4割を占めた。

伝染性紅斑 発生状況



流行性耳下腺炎 発生状況



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患	
宮崎市	なし	* 流行警報レベル開始基準値 * ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0) ・感染性胃腸炎(20.0)
都城	伝染性紅斑(2.0)	
延岡	流行性耳下腺炎(5.3)	* 流行注意報レベル基準値 * ・伝染性紅斑(2.0) ・流行性耳下腺炎(3.0)
日南	感染性胃腸炎(46.3)	
小林	感染性胃腸炎(21.7)、流行性耳下腺炎(4.0)	
高鍋	なし	
高千穂	なし	
日向	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.8)	
中央	なし	

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 27 年 12 月 14 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:H40)	5~9歳	女	2015.11.27	—	便	2015.12.4

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	材料	検出日
エコーウイルス16型	0~4歳	男	2015.11.14	新生児発熱、39.2℃	便、鼻汁	2015.12.9
単純ヘルペスウイルス1型	0~4歳	男	2015.11.26	ヘルペス口内炎、38.3℃	咽頭ぬぐい液	2015.12.9

○ヘルペス口内炎と診断された小児から単純ヘルペスウイルス1型(HSV1)が分離された。HSV1の初感染は、母親からの移行抗体が消失する生後9カ月以降の乳幼児に多くみられ、主にヘルペス性歯肉口内炎を発症する。また成人では、50~100%の人がHSV-1抗体陽性とされているが、HSV1は初感染後、体内（神経節）に終生潜伏感染するため、体力が低下した時などに再発を繰り返すことがある。

🇯🇵 全国第49週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第49週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	341例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	29例	腸チフス	1例	パラチフス 2例
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群 2例
	つつが虫病	36例	レジオネラ症	37例	レプトスピラ症 1例
5類感染症	アメーバ赤痢	13例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 15例
	急性脳炎	8例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 6例
	後天性免疫不全症候群	19例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症 31例
	水痘（入院例）	7例	梅毒	44例	播種性クリプトコックス症 2例
	風しん	3例			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比124%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は7,311人(2.3)で前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約1.7倍であった。香川県(7.8)、鳥取県(7.2)、福井県(5.2)からの報告が多く、年齢別では6カ月~1歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は2,480人(0.79)で前週比130%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.25)の約3.2倍であった。大分県(2.4)、秋田県(2.1)、山形県(2.0)からの報告が多く、流行警報レベル開始基準値(2.0)を超過している。年齢別では4~7歳が全体の約6割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第50週(12月7日～12月13日)

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	6	7		1				6			
	定点あたり	0.10	0.12	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	61	66	16	1	14	8		23		4	
	定点あたり	1.69	1.83	1.60	0.17	3.50	2.67	0.00	5.75	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	21	22	7	2	2	2		1		8	
	定点あたり	0.58	0.61	0.70	0.33	0.50	0.67	0.00	0.25	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	106	131	24	25	20	10	7	9		35	1
	定点あたり	2.94	3.64	2.40	4.17	5.00	3.33	2.33	2.25	0.00	8.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	423	465	110	39	23	139	65	50	5	29	5
	定点あたり	11.75	12.92	11.00	6.50	5.75	46.33	21.67	12.50	5.00	7.25	5.00
水痘	報告数	23	33	21	3	1	1	1	1		5	
	定点あたり	0.64	0.92	2.10	0.50	0.25	0.33	0.33	0.25	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	16	7	1	1	4					1	
	定点あたり	0.44	0.19	0.10	0.17	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	21	34	8	12	4	1	4	5			
	定点あたり	0.58	0.94	0.80	2.00	1.00	0.33	1.33	1.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	34	28	9	2	5	3	4	2		2	1
	定点あたり	0.94	0.78	0.90	0.33	1.25	1.00	1.33	0.50	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2	1		1						
	定点あたり	0.03	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	42	47		10	21		12			4	
	定点あたり	1.17	1.31	0.00	1.67	5.25	0.00	4.00	0.00	0.00	1.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	25	17	7	1						
	定点あたり	3.33	4.17	5.67	3.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	4										
	定点あたり	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～50週)

2類感染症	結核	203例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	111例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	9例
	つつが虫病	45例(6)	デング熱	1例	日本紅斑熱	9例
	マラリア	1例	レジオネラ症	5例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	15例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	6例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	8例				

()内は今週届出分、再掲

月報告対象疾患の発生動向 <2015年11月>

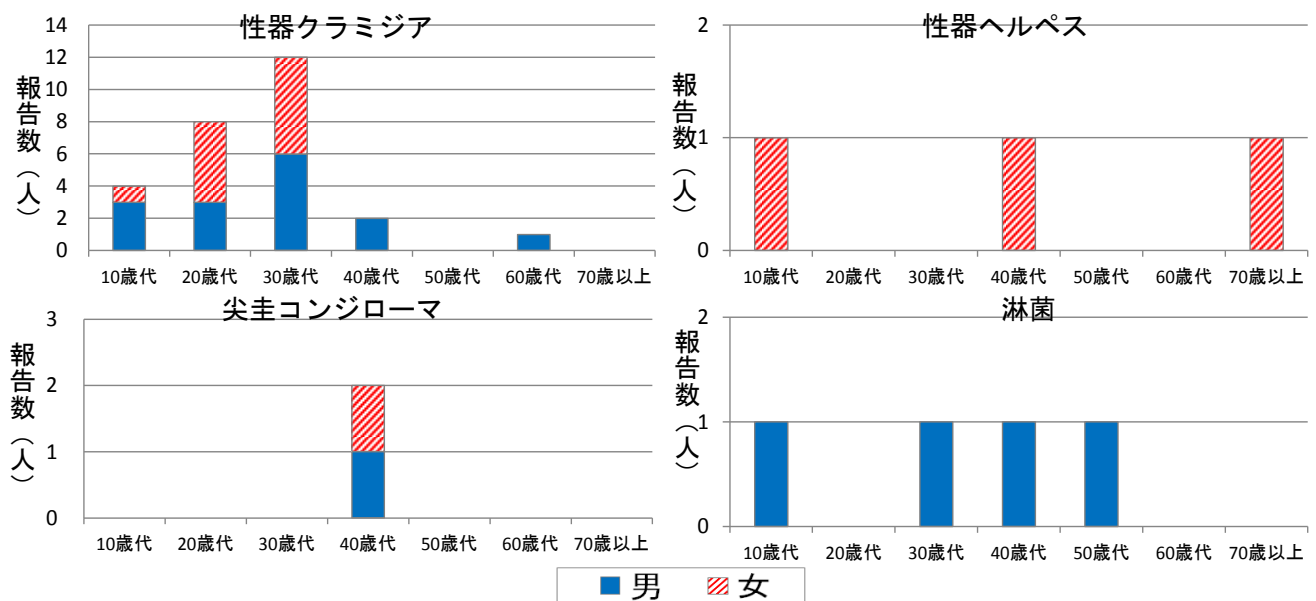
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は36人(2.8)で、前月比106%とやや増加した。また、昨年11月(2.7)と同程度であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数27人(2.1)で、前月の約1.4倍、昨年11月と同程度であった。30歳代が全体の約4割を占めた。(男性15人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍、昨年11月と同じであった。(女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月と同じ、昨年11月の2.0倍であった。(男性1人・女性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.4倍、昨年11月の0.8倍であった。(男性4人)



【全国】 定点医療機関総数：980

定点医療機関からの報告総数は3,857人(3.9)で、前月比93%とやや減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,980人(2.0)で前月比91%、性器ヘルペスウイルス感染症666人(0.68)で前月比93%、尖圭コンジローマ489人(0.50)で前月比93%、淋菌感染症722人(0.74)で前月比103%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で前月比147%と増加した。また昨年11月(3.0)の約1.2倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月の1.5倍、昨年11月の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月及び昨年11月と同じであった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：473

定点医療機関からの報告総数は1,513人(3.2)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,334人(2.8)で前月比97%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症159人(0.34)で前月比94%、薬剤耐性緑膿菌感染症20人(0.04)で前月比133%であった。